



終わらない

3.11 原発震災の被害 —北関東の被災者・福島県からの 避難者調査から考える—

日時：2014年2月8日(土) 13:00~16:30

場所：明治学院大学白金キャンパス 本館 1201 教室
(東京都港区白金台 1-2-37)

～入場無料・事前申し込み不要～

3.11 原発震災から3年近くが経過するなか、原発事故に起因する放射能汚染は継続しており、福島県と北関東をはじめとする周辺被災地域において、深刻な被害が続いています。しかし、福島県外の「低認知被災地」や、福島県外での生活を余儀なくされている避難者には、いまだに十分な支援が届いていません。栃木県、群馬県、茨城県において実施した被災者アンケート、福島県からの避難者のアンケート調査(各種)にもとづいて、終わらない被害の現状とその問題構造、そして今後必要な支援の在り方について考えます。

プログラム

第1部 北関東地域の被災者調査報告

司会：齋藤百合子 (明治学院大学)

- ① 栃木県内被災地域 乳幼児保護者アンケート (清水奈名子 宇都宮大学)
- ② 群馬県内被災地域 被災者アンケート (西村淑子 群馬大学)
- ③ 茨城県内被災地域 「茨城県震災直後の食行動と甲状腺検査意向調査」 (原口弥生 茨城大学)
- ④ 福島県からの避難者アンケート (高橋若菜・阪本公美子・匂坂宏枝 宇都宮大学、西村淑子、原口弥生)

第2部 パネル・ディスカッション

「終わらない被害と被災者の権利を考える」

司会：重田康博 (宇都宮大学)

お問い合わせ・連絡先

- 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350 電話：028-649-5228
Mail: sagih-fsp@hotmail.co.jp [担当：匂坂(さぎさか)]
- 明治学院大学国際平和研究所
〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 電話：03-5421-5652
Mail: prime@prime.meijigakuin.ac.jp

パネリストのご紹介

●伊藤和子 (いとう かずこ)

弁護士。国際人権 NGO ヒューマンライツ・ナウ事務局長。日弁連両性の平等に関する委員会委員。国際人権問題委員会委員。UN Women アジア太平洋地域アドバイザー。国際人権法学会。ジェンダー法学会理事。

●手塚真子 (てづか まこ)

栃木県那須塩原市在住。栃木県北部の放射能汚染問題への対応を進めるため、「那須塩原放射能から子どもを守る会」を立ち上げ、現在も代表として活動中。

●大山 香 (おおやま かおり)

福島県富岡町出身、栃木県宇都宮市在住。福島市からの自主避難者として、「とちぎ暮らし応援会」の訪問支援員、「栃木避難者母の会」代表として活動中。

●萩三枝子 (おぎ みえこ)

茨城県ひたちなか市在住。「関東子ども健康調査基金」共同代表として、関東地域での甲状腺検査を継続的に実施。代表をつとめている「未来への風 いちから」は、ひたちなか市近辺の広域避難者への寄り添い活動も展開。

●他